

2018年2月期 決算説明会資料

2018年4月18日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.



目次

財務報告 2

 2018年2月期 決算概況 3

 2019年2月期 業績見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 27

SMILE
IS
POWER.

財務報告

2018年2月期 決算概況
2019年2月期 業績見通し



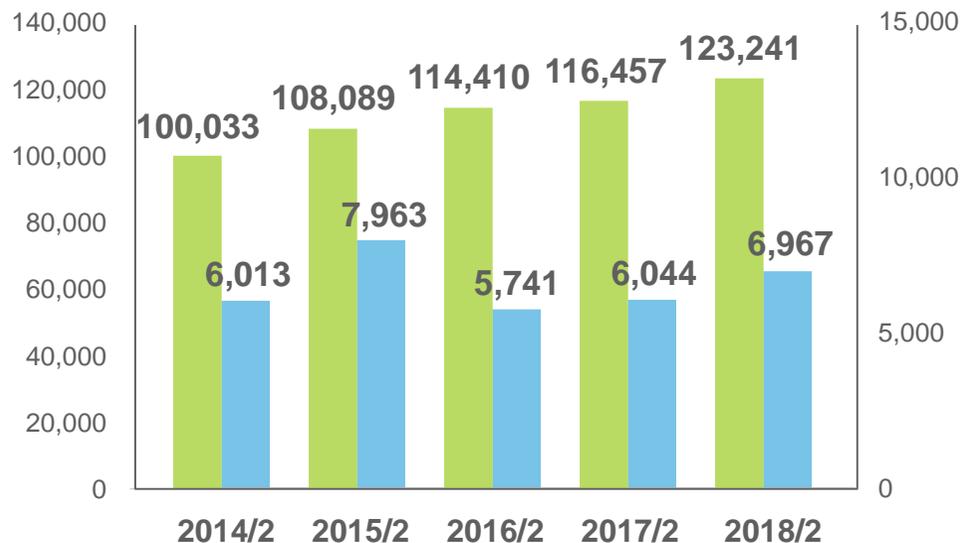
前期を振り返って

- **売上高**：EC販売が好調に推移するなどにより、売上高は前期比5.8%増収なり、1,232億円となった。
- **利益率**：冬季商材の消化が悪く在庫評価損から売上総利益率が悪化したものの、販売費及び一般管理費比率が改善したことにより、営業利益率・経常利益率は改善。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

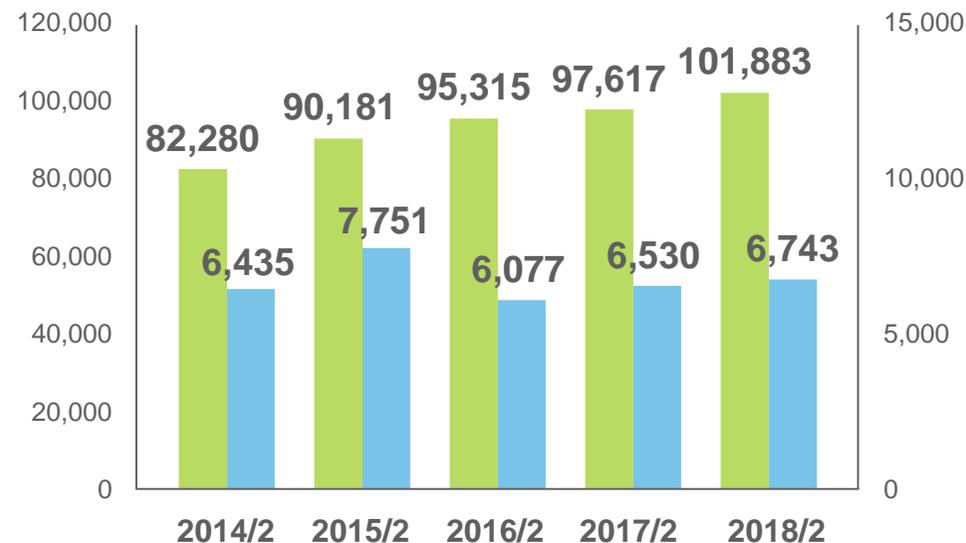
単位：百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



2018年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況 PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	116,457	123,880	123,241	105.8%	99.5%
売上総利益	65,303	70,680	68,751	105.3%	97.3%
(売上比)	56.1%	57.1%	55.8%	—	—
営業利益	6,164	8,020	7,042	114.3%	87.8%
(売上比)	5.3%	6.5%	5.7%	—	—
経常利益	6,044	7,850	6,967	115.3%	88.8%
(売上比)	5.2%	6.3%	5.7%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,071	4,060	2,489	81.1%	61.3%
(売上比)	2.6%	3.3%	2.0%	—	—

- EC販売の伸張が牽引し、増収。
- 冬季季節商材の思惑が外れ、公表計画値には届かなかったものの、営業利益・経常利益とも二桁増益。減損損失を1,766百万円計上するなど、当期純利益は減益。

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	97,617	104,180	101,883	104.4%	97.8%
売上総利益	55,464	59,855	57,632	103.9%	96.3%
(売上比)	56.8%	57.5%	56.6%	—	—
営業利益	6,661	7,870	6,798	102.1%	86.4%
(売上比)	6.8%	7.6%	6.7%	—	—
経常利益	6,530	7,710	6,743	103.3%	87.5%
(売上比)	6.7%	7.4%	6.6%	—	—
当期純利益	3,780	4,480	948	25.1%	21.2%
(売上比)	3.9%	4.3%	0.9%	—	—

- グループ内企業向けの引当・株式評価損などにより2,695百万円計上するなどにより、当期純利益ベースで大幅減益となった。

単位:百万円

	2017年1月期 実績	2018年2月期 実績	前年比
売上高	9,511	10,728	112.8%
営業利益	195	549	281.5%
経常利益	208	581	279.3%
当期純利益	177	354	200.0%

- 決算期変更(1月末→2月末)のため、通年比較可能な期間での対比。
また、持株会社宛の業務委託費等を経費から控除し、同条件で比較。
ECと連動させたプロモーションにより店頭売上も増加し、大幅増益。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

単位:百万円

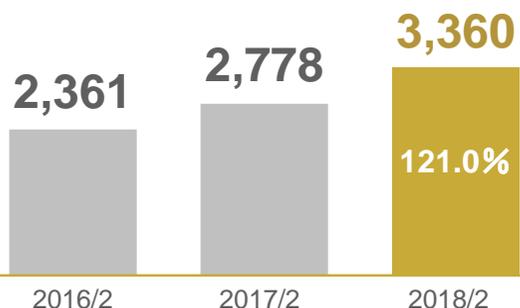
		2017年2月期	2018年2月期	前年度比
衣料	売上高	85,097	89,517	105.2%
	構成比	73.1%	72.6%	
	営業利益	3,827	5,041	131.7%
	営業利益率	4.5%	5.6%	
雑貨	売上高	31,212	33,604	107.7%
	構成比	26.8%	27.3%	
	営業利益	2,308	1,975	85.6%
	営業利益率	7.4%	5.9%	
その他	売上高	147	120	81.6%

		2017年2月期	2018年2月期	前年度比
EC売上高	ZOZO TOWN	4,061	7,183	176.9%
	自社PALCLOSET	1,343	1,987	148.0%
	その他	1,854	1,851	99.8%
	合計	7,258	11,021	151.9%
	対衣料売上高比率	8.5%	12.3%	3.8P

- EC販売は、ZOZOTOWN中心に大幅伸張。目標の100億円を超過達成。今後は自社サイト売上にも注力。

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

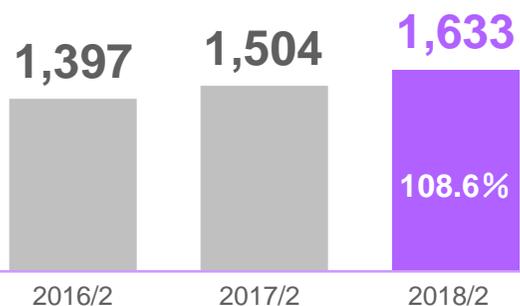
カスタネ

店舗数 20店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カットイング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

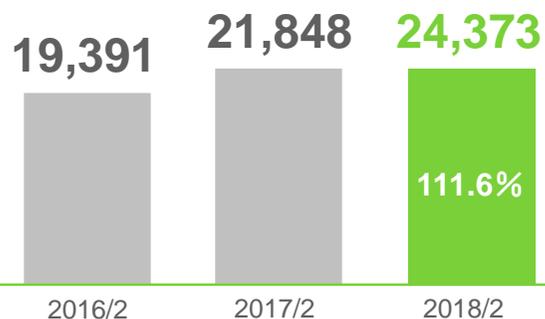
ルイス

店舗数 8舗



売上高

単位:百万円



3COINS

何度でも行きたくなる！いつ行っても発見がある！
ワクワク・ドキドキがたくさん詰まったHAPPY STORE
3COINSは、あなたのちょっと「幸せ」をお手伝い
する雑貨店です。キッチン・バス・インテリア・靴下・
アクセサリなどの商品を、ベーシックなものから楽
くなるようなカラフルな色使いのものまで、300円
を中心とした雑貨を幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 181店舗



販売費及び一般管理費

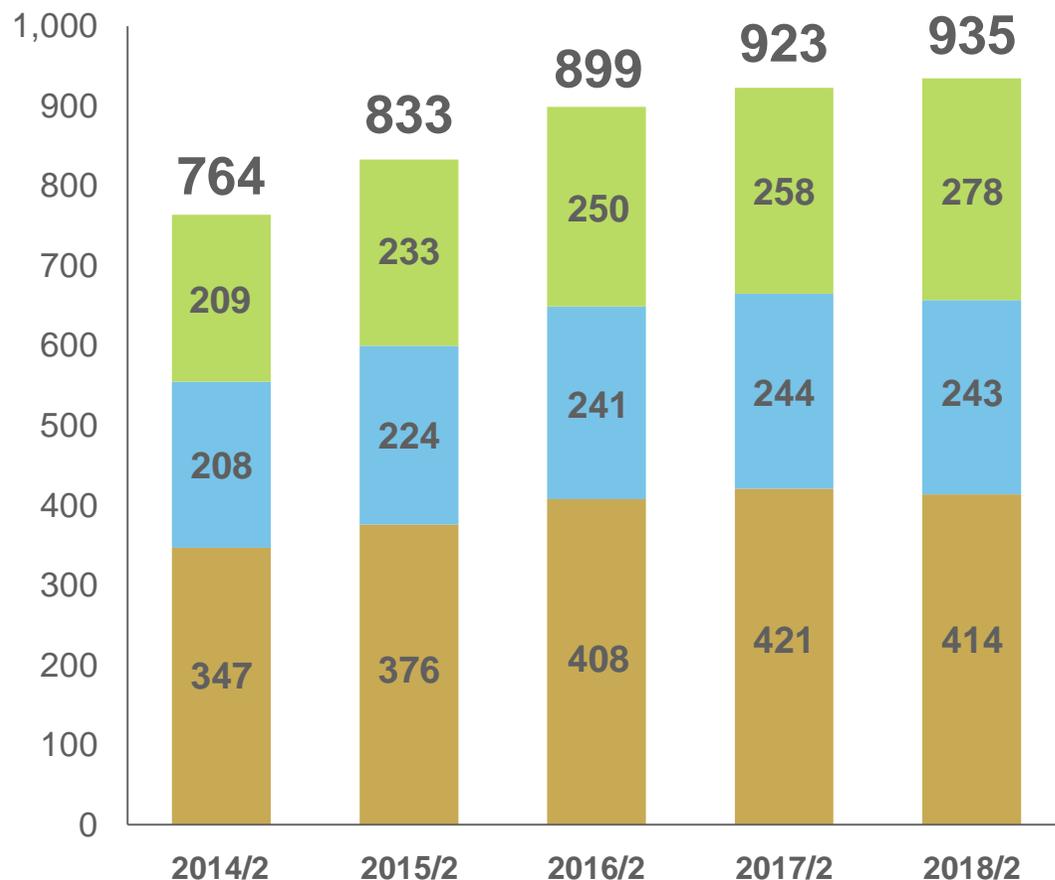
PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期	前年度比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	48,802	50,834	104.2%
連結	59,139	61,708	104.3%
販管費比率(連結ベース)	50.8%	50.1%	△0.7P
人件費比率	19.4%	19.2%	△0.2P
賃料比率	17.1%	16.2%	△0.9P
広告宣伝費比率	0.4%	0.3%	△0.1P

期末店舗数935店舗 (前期末比12店増)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

旺盛な出店要請を背景に、3コインズを33店舗出店(退店7店舗)するなど、計57店舗出店。

(株)オリーブ・デ・オリーブの営業譲受32店舗(うち3店舗退店、2店舗業態変更)。

一方、不採算店舗の撤退を推し進め、退店は77店舗(上記内数含む)。

昨年度末比12店舗の純増。

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期
固定資産除却損	170	262
リース契約解約損	4	8
減損損失	649	1,766
特別損失合計	823	2,038

- 減損損失は、退店を予定した店舗にかかる資産380百万円のほか、2期連続赤字となった「チャオパニック」ブランドの店舗にかかる固定資産に対して1,188百万円計上など。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	51,288	58,190	6,902	
現金及び預金	35,959	40,729	4,770	
売掛金	5,178	5,194	16	
たな卸資産	8,606	9,935	1,329	
その他	1,545	2,331	786	
固定資産	25,794	24,699	△ 1,095	
有形固定資産	9,903	8,233	△ 1,670	
無形固定資産	398	637	239	
投資その他の資産	15,492	15,828	336	
資産合計	77,083	82,890	5,807	
流動負債	27,685	30,091	2,406	
固定負債	11,807	14,323	2,516	
負債合計	39,492	44,415	4,923	
純資産合計	37,590	38,475	885	自己資本比率 46.4%
負債資本合計	77,083	82,890	5,807	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2017年2月期	2018年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,160	5,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,531	△1,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,844	1,322
現金及び現金同等物の増加(減少)額	784	4,835
現金及び現金同等物の期首残高	35,174	35,959
現金及び現金同等物の期末残高	35,959	40,728

単位:百万円

1. 連結

	2018年2月期	2019年上期	2019年下期	2019年2月期	前期比
売上高	123,241	66,340	67,170	133,510	108.3%
売上総利益	68,751	37,770	37,870	75,640	110.0%
販売管理費	61,708	33,880	32,770	66,650	108.0%
営業利益	7,042	3,890	5,100	8,990	127.7%
経常利益	6,967	3,750	4,970	8,720	125.2%
特別損益	△2,038	△300	△300	△600	29.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,489	2,130	2,800	4,930	198.1%
粗利率	55.8%	56.9%	56.4%	56.7%	0.9P

2. (株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

	2018年2月期	2019年2月期	前期比
売上高	101,883	107,300	105.3%
売上総利益	57,632	61,530	106.8%
販売管理費	50,834	53,890	106.0%
営業利益	6,798	7,640	112.4%
経常利益	6,743	7,390	109.6%
特別損益	△3,435	△600	17.5%
当期純利益	948	6,790	716.2%
粗利率	56.6%	57.3%	0.7P

- EC売上は前年比135%を計画し、小売既存店売上100%を前提に計画。
- 粗利率を0.9ポイント改善し、経費削減に努め増益を図る。前年のような多額な減損損失は見込まれず。

2019年2月期 業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

()内、現時点の確定数

	2017年2月期	2018年2月期	2019年2月期 (現時点の各定数)
新規店舗数	65	(営業譲受32含む)89	38
退店店舗数	41	77	21
店舗数純増	24	12	17
期末店舗数	923	935	952

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2017年2月期	2018年2月期 上期累計実績	2018年2月期 下期累計実績	2018年2月期 通期実績	2019年2月期 計画
既存店売上推移	94.7	103.2	103.2	103.2	102.0
うち小売既存店売上高	93.0	100.0	99.9	100.0	100.0
うちネット通販既存店売上高	126.9	157.0	142.9	148.8	135.0

	2017年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
既存店売上推移	100.5	106.0	101.5	105.0	103.1	103.7	102.9	98.9	108.6	104.3	102.7	105.6
うち小売既存店売上高	98.1	103.6	99.2	100.4	98.7	100.4	100.9	96.0	101.8	100.8	99.0	101.6
うちネット通販既存店売上高	142.9	148.3	140.0	175.6	171.6	158.6	147.5	153.9	141.4	144.7	136.1	145.7

3. 全店売上の状況

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	通期
全店売上	103.9	106.2	103.7	107.7	104.0	104.1	102.0	98.0	101.3	102.6	100.4	102.2	102.7
うちEC	155.1	156.5	148.5	178.9	175.8	158.0	149.5	157.9	138.8	143.8	136.3	144.5	151.9

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比	客数前年度比
衣料事業	96.8%	102.0%
雑貨事業	97.9%	103.1%
全体	96.6%	102.9%

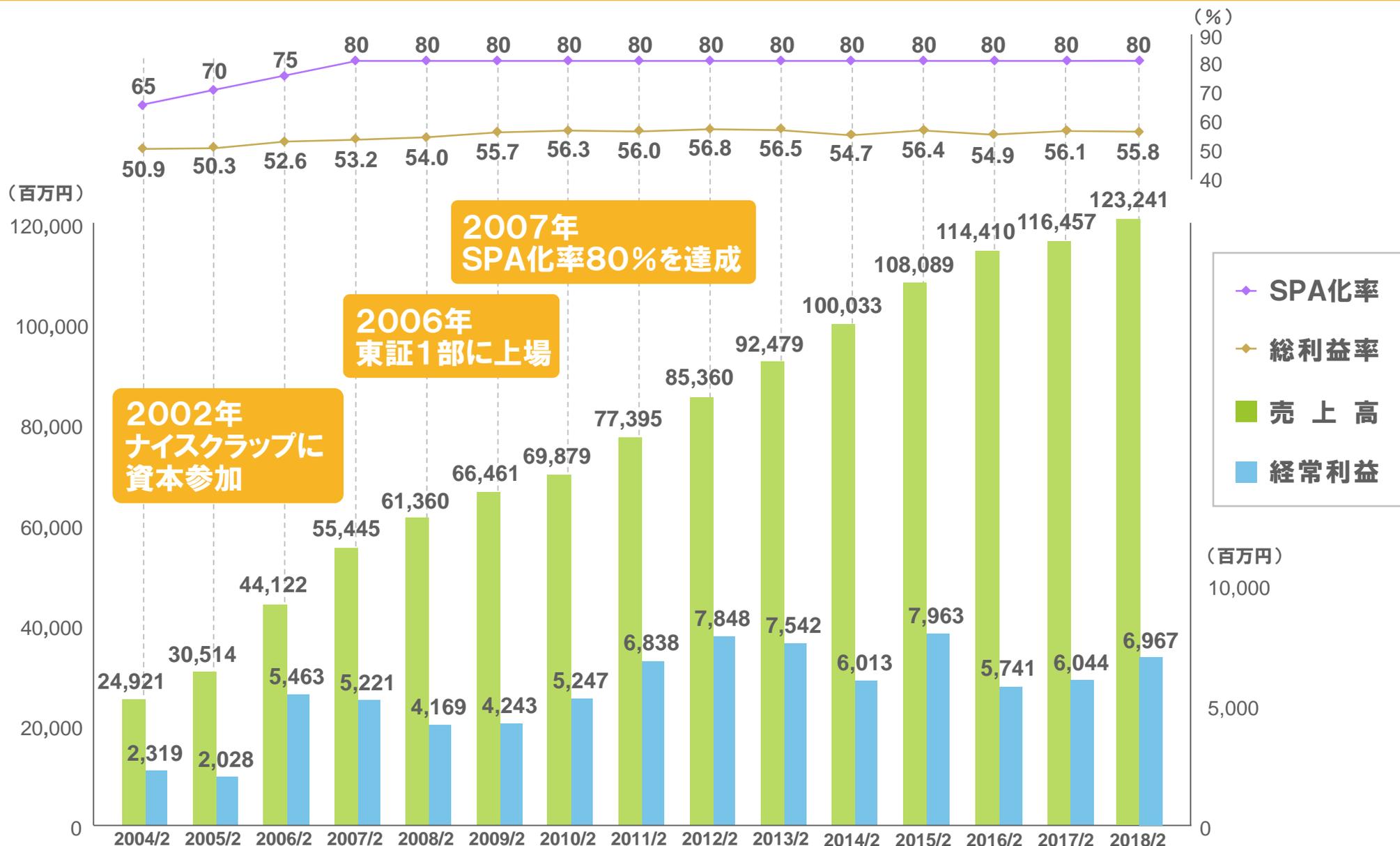
SMILE
IS
POWER.

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン

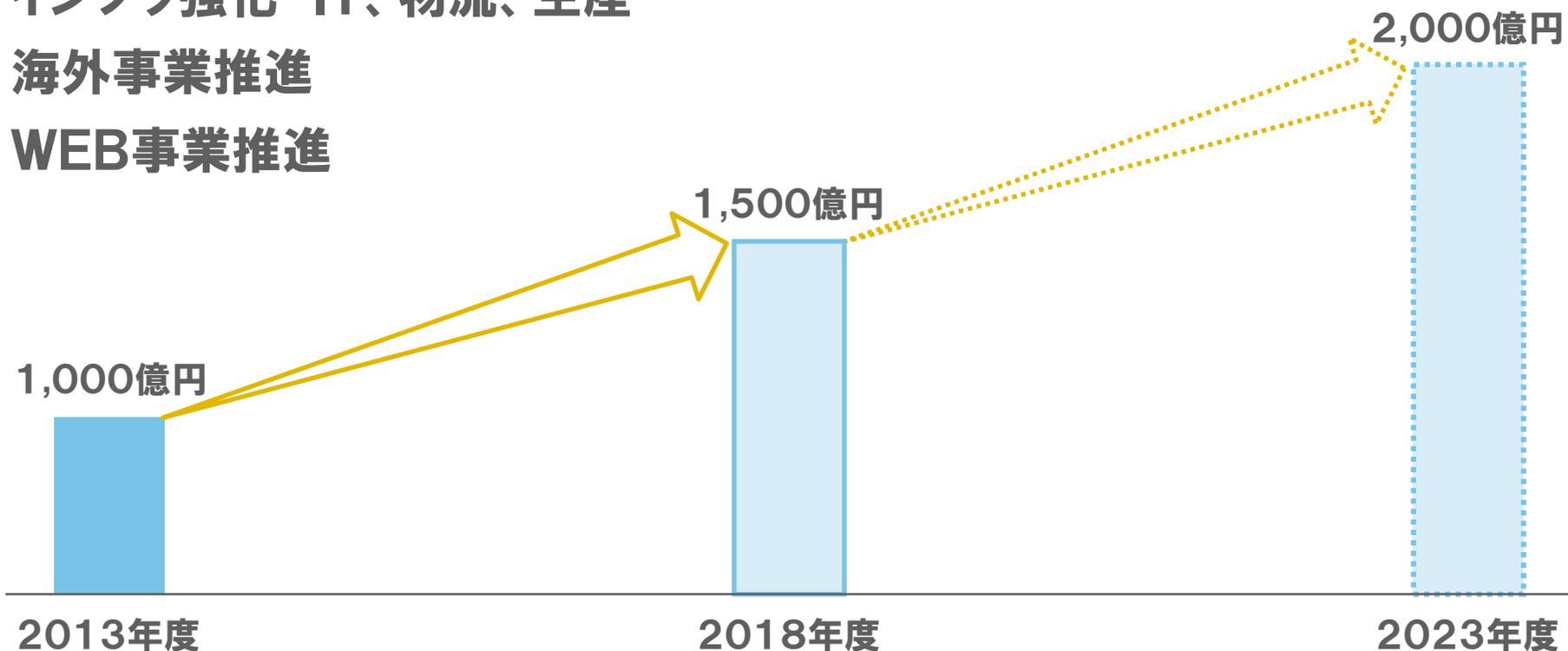


業績推移



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



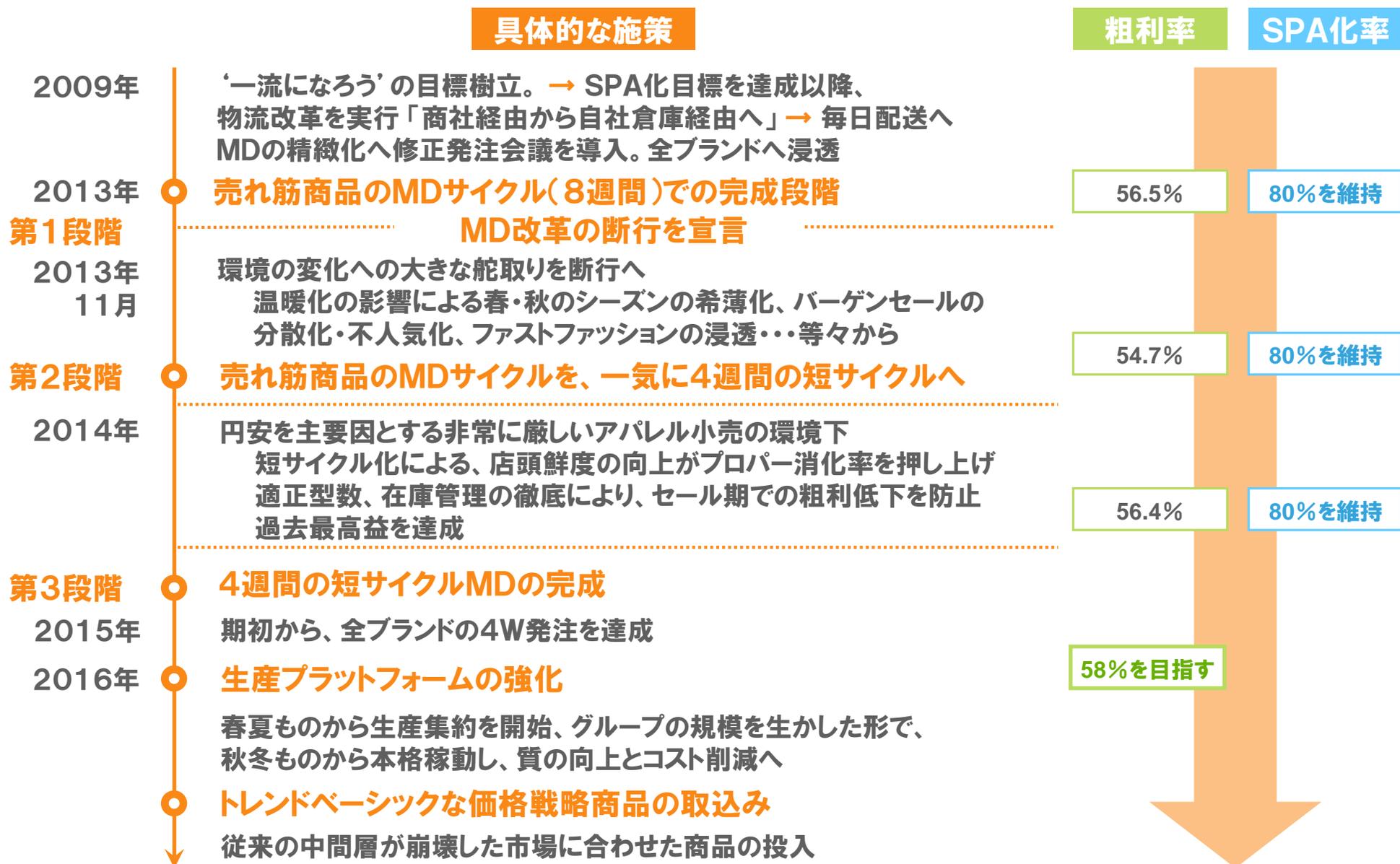
SMILE
IS
POWER.

トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-①PAL流オムニチャンネル
 - 2-②PALCLOSETの伸長にスタッフの大きな貢献
3. プラスワンカテゴリー事業創造
4. IKORA PARKS(イコラパークス)オープン
5. COLONY2139 神戸初出店



1. MD改革の進捗状況



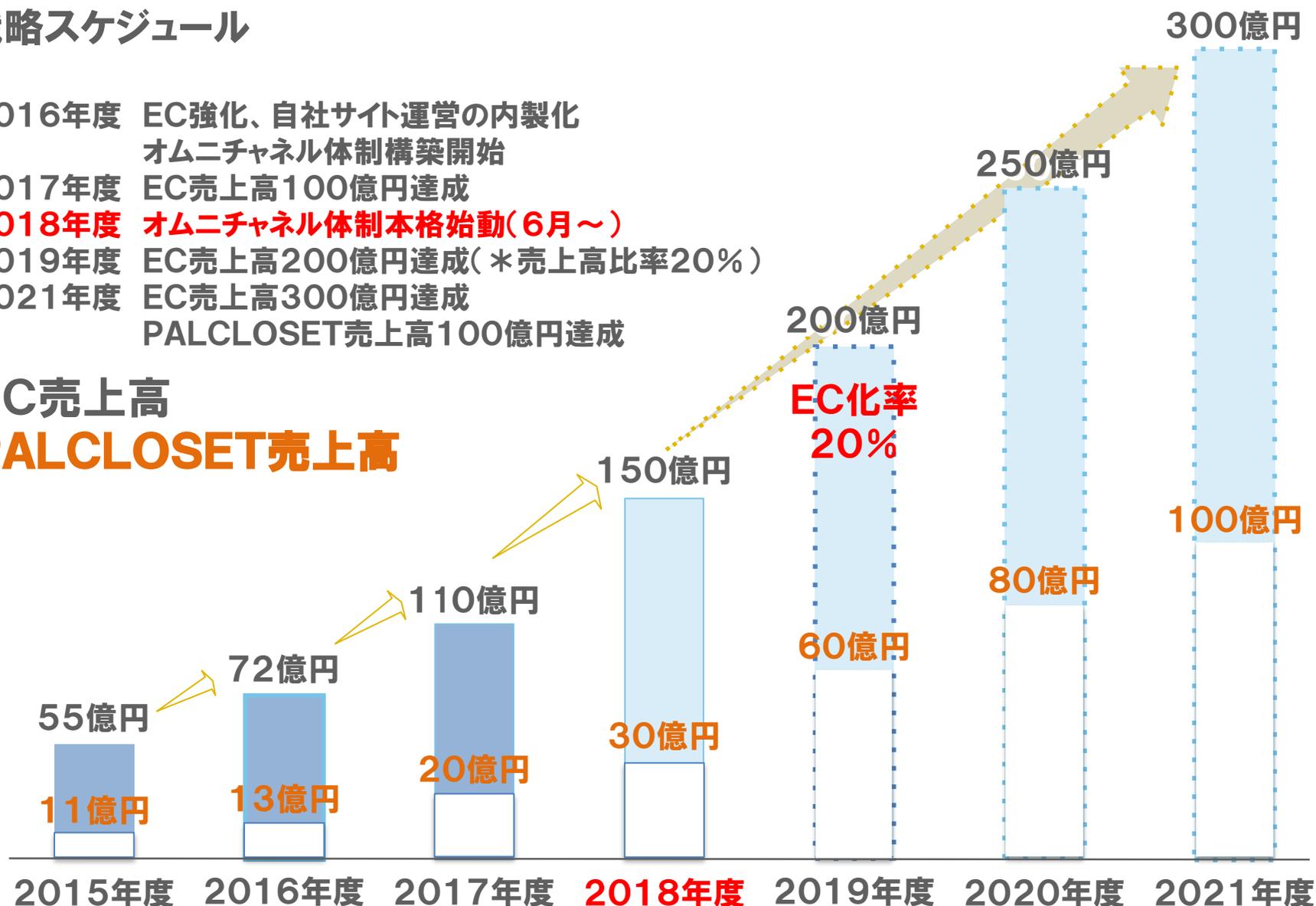
2. EC販売強化

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャンネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャンネル体制本格始動(6月~)
- 2019年度 EC売上高200億円達成(*売上高比率20%)
- 2021年度 EC売上高300億円達成
PALCLOSET売上高100億円達成

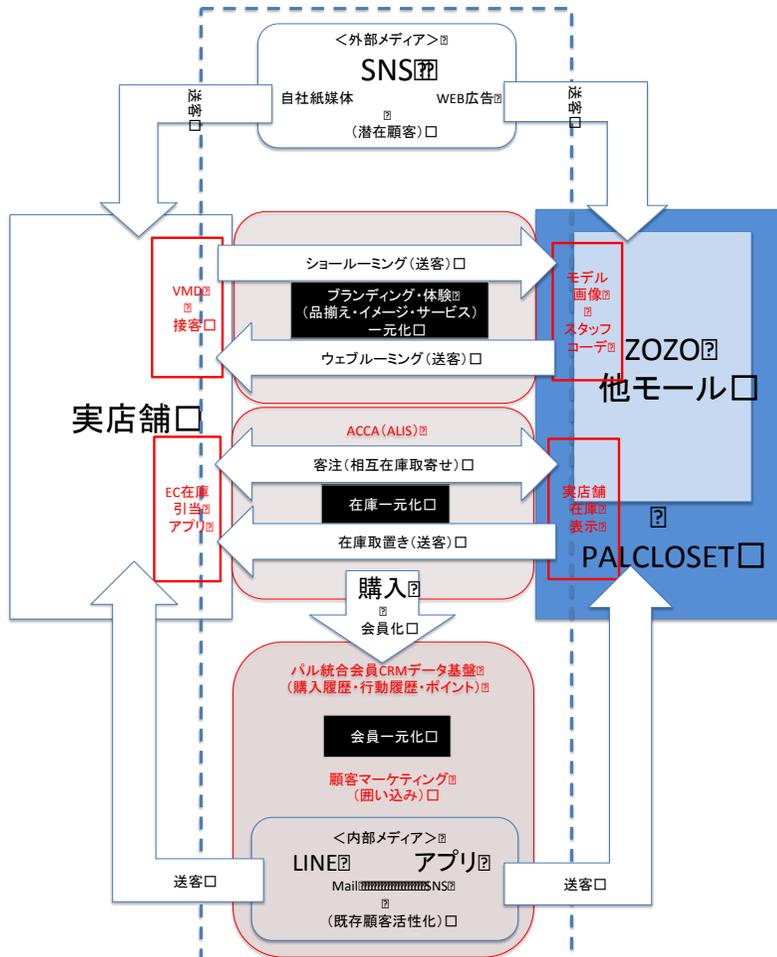
- EC売上高

- PALCLOSET売上高



2-①. PAL流オムニチャネル

Technology



システム・データの一元化
デジタルの活用

Human



×

実店舗・ECの境を超えた
スタッフの活躍

2-②. PALCLOSETの伸長にスタッフの大きな貢献 PAL GROUP HOLDINGS

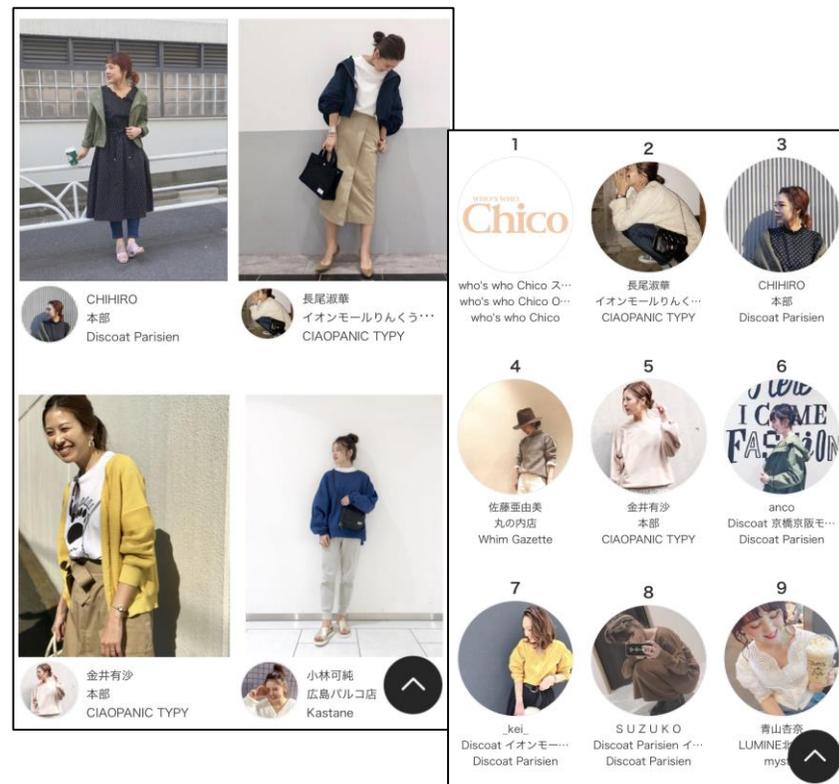
● 事例1



社内スタッフを使った旅コンテンツ

→ 10万人近くが訪問し、経由売上も300万円超

● 事例2



スタッフの発信するコーディネート提案

→ コーデ経由売上比率が30%を超える

3. プラスワンカテゴリー事業創造

-  russet では、プラスワンカテゴリーとして、シチズン時計株式会社との協業で、「LAUGHWATCH(ラフウォッチ)」を開発。電池切れも水濡れもないストレスフリーで、着ける人をよりアクティブにする時計です。室内の照明でも充電可能な「光発電」に加え、マリンスポーツも可能な「20気圧防水」という高機能な時計を「ハイコストパフォーマンス」で実現。



※2018.3.20(火)現在

- 従来の手法とは異なるテストマーケティング、 Makuake による「クラウドファンディング」で効果測定を行い、短期間に目標金額を超過達成いたしました。今後、全国の「ラシット・デイリーラシット」店頭、及びECサイトでの展開も順次行い、新たな顧客開拓・市場開拓を目指していきます。

4. IKORA PARKS(イコラパークス)オープン

- 和歌山県白浜町に総施設面積約2万坪の広大な土地を利用したサバイバルゲーム場、シューティング場、BBQ場、キャンプ場からなるレジャー施設「IKORA PARKS(イコラパークス)が平成30年3月17日オープンしました。

他社にはないパルらしいユニークな切り口でコト消費やリアル体験を提供、地域振興を目的とし、障がい者雇用の拡大にも取り組みます。

【施設概要】

- 名称:IKORA PARKS(イコラパークス)
- 所在地:649-2200 和歌山県西牟婁郡白浜町2846 TEL 0739-43-0630
(白浜IC降りて車で15分、JR白浜駅から車で約10分)



5. COLONY2139 神戸初出店



子会社である株式会社ジェネラルが展開するCOLONY2139の、兵庫県初の店舗を、2018年9月末（予定）で、神戸市の「三宮ゼロゲート（仮称）」に出店します。業績回復を受けた約2年ぶりの出店であり、今後の大型店舗としての多店舗展開を展望しています。

SMILE
IS
POWER.

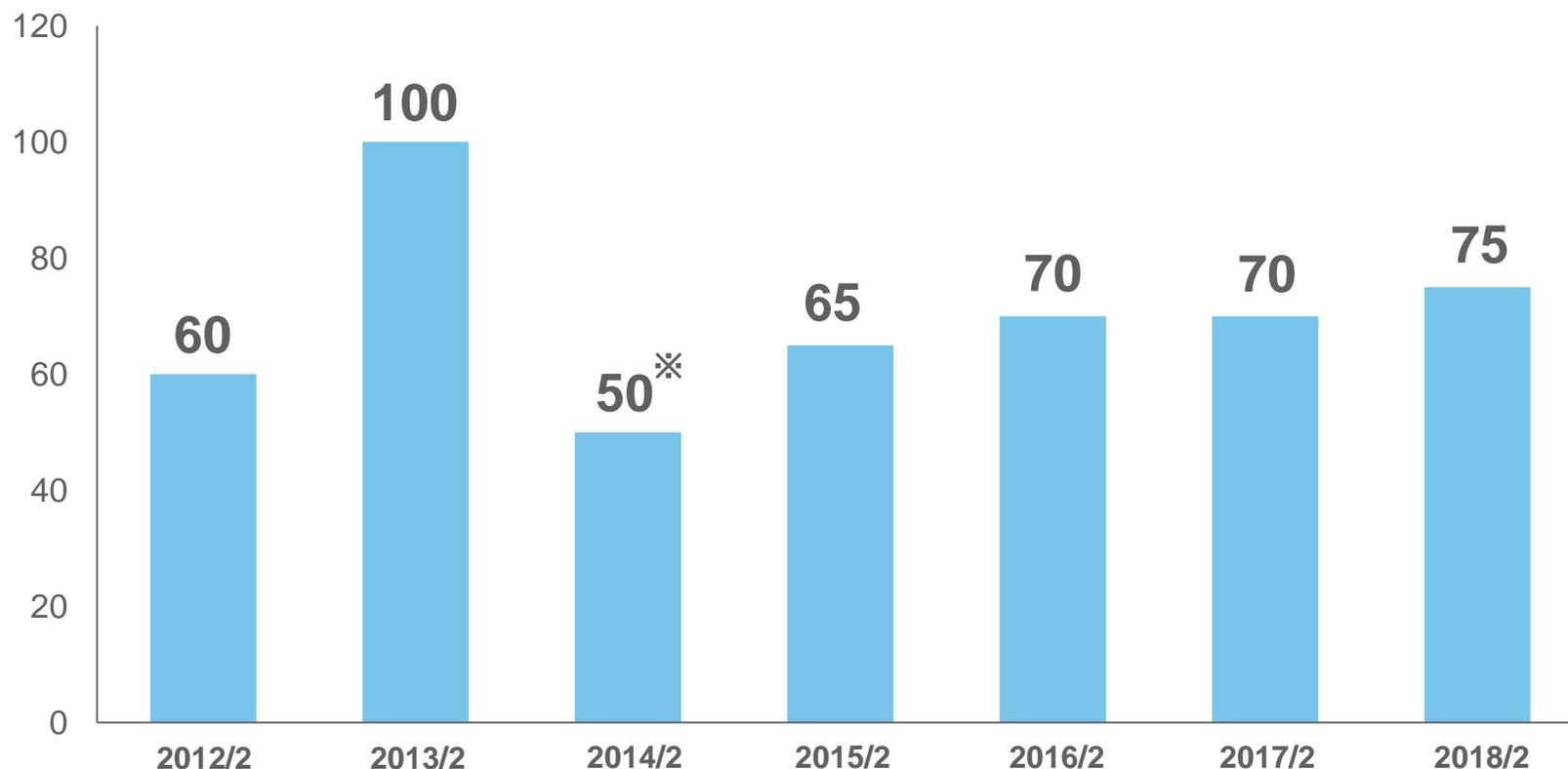
株主様への対応

1. 株主還策について
2. 株主優待制度について
3. CSRへの取り組みについて



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、75円とする(前期比5円増配)



※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み

2. 株主優待制度について

『パルグループ全体の販売を促進する内容』で、導入を決定

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を導入いたしました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単元）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の3つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①全国の当社グループ店舗でのご購入代金の15%を割引
- ②当社ECサイト「PAL CLOSET ONLINE STORE」でのご購入代金の15%を割引
- ③当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「浜木綿くろしお山荘」及び「フリーゲート白浜」での宿泊コース料金の50%を割引

● 優待券の付与枚数

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



3. CSRへの取り組みについて

(1) 当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR (Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任) とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わることを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることを考えています。



3. CSRへの取り組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

3. CSRへの取組みについて

(3) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献活動の一環として、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生(留学生を含む)に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ
経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所在地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F ↓ 平成30年5月7日移転後住所 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代表者	井上 隆太
資本金	31億8,120万円
設立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店舗数	935店舗

2018年2月末現在

経営企画室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。